

## 栽培情報12月号 ～麦中間管理作業について～

令和5年12月19日  
JA みづま  
久留米普及指導センター

今年の麦の播種は11月15日頃から始まり、降雨が少なかったことから12月上旬までには概ね終了しました。今後は、排水対策及び雑草防除を徹底するとともに、麦踏みや土入れ等の中間管理作業を励行しましょう。

### 1. 追肥 下表の施用時期を参考に遅れないように適期に実施しましょう！

(10a 当たり)

品種名	肥料名	1回目追肥 (1月中下旬)	2回目追肥 (2月中下旬)
イチバンボン	麦追肥一発2号	20kg	—
	分施肥系 ※	20kg	10kg
はるしずく	麦追肥一発2号	20kg	—
	分施肥系 ※	20kg	10kg
シロガネコムギ	麦追肥一発2号	40kg	—
	分施肥系 ※	30kg	10kg

※分施肥系で追肥する場合は、「NK2号」もしくは「ちくこのめくみ444」を使用する。

### 2. 麦踏み・土入れ

○麦踏み（分けつ促進・倒伏防止・早期茎立ち抑制）

- ・本葉3～4枚頃から茎立ち期（2月下旬頃：草丈20～25cmまでが目安）までに2～3回。
- ・土入れも同時に行う場合は、「土入れ→麦踏み」の順で行う。
- ・晴天で土が乾燥し、茎葉水分が少ない午後に行う。



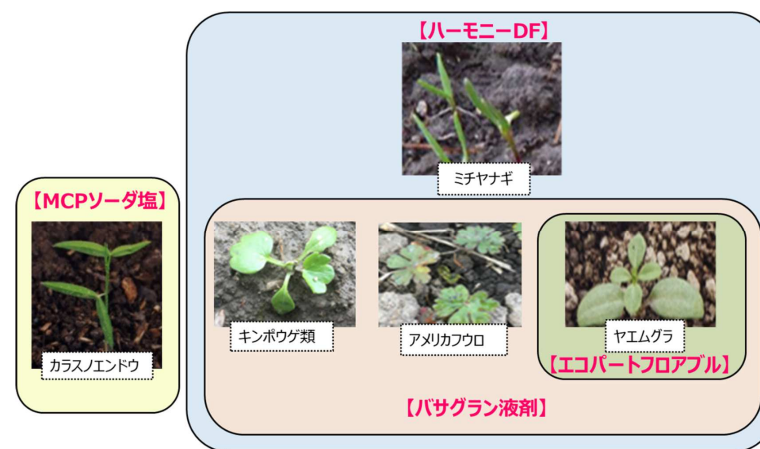
○土入れ（倒伏防止・雑草防除・表面排水促進）

- ・本葉3～4枚頃から茎立ち1週間後頃までに3回程度（1月上旬、2月上旬、3月上旬頃）
- ・晴天で土が乾燥している時に行う。
- ・麦踏み直後には土入れしない。（麦が埋もれる）
- ・追肥後に土入れをすると肥料の効果が安定します！
- ・土入れ後は、畝溝と枕の横溝の交差部分の溝さらえ、排水口との連結を行い雨水がほ場外へ流れ出るようにする。



### 3 雑草防除 発生した雑草に応じて、茎葉処理除草剤を選択しましょう。

薬剤名	対象雑草	使用時期	10a 当たり 使用量	備考
ハーモニ-細粒剤F	一年生 広葉雑草	播種後～麦3葉期まで (雑草発生前～発生始期)	4～5kg	・ハーモニ-細粒剤Fとハーモニ-DF はいずれか1回しか使用 できない
ハーモニーDF	一年生 広葉雑草	播種後～節間伸長前	5～10g (水70～100L)	・ <b>タデ類</b> に効果が高い ・スズメノテウリ、ヤムグル、カサノ グサ、ミチナギは10g/10a を目安
		節間伸長開始期～ 穂ばらみ期まで (収穫45日前まで) <b>※大麦、裸麦は節間伸長前 までしか使えません</b>	3～10g (水70～100L)	
バサグラン 液剤	一年生 広葉雑草	生育期 (小麦：収穫45日前まで) (大麦：収穫90日前まで)	100～200ml (水70～100L)	・ <b>キボクガ</b> 類に効果が高い ・高温、晴天時に効果が高い
エコパート フロアブル	一年生 広葉雑草	節間伸長開始期まで (収穫45日前まで)	50～100ml (水100L)	・ <b>ヤムグル</b> に効果が高い ・散布後、葉に白斑、白点など が生じるが、その後の生育に は影響はしない。
MCP ソーダ塩	一年生 広葉雑草	幼穂形成期 (収穫45日前まで)	200～300g (水70～100L)	・ <b>カサノドウ</b> に効果が高い ・気温が高いほど効果が安定 ・ <b>分けつ抑制のおそれがあるた め、茎数を十分確保してから 散布(目安：3月上旬)</b>



●雑草が大きくなる前に対策を！

●農薬の散布にあたっては、近隣にある他作物、住居などに注意しましょう。